

凍結胚の保存延長申請・廃棄申請方法

保険適用による胚の凍結保存は、胚凍結保存管理料算定日（胚凍結を開始した日）または胚凍結保存維持管理料算定日（以前から凍結してある胚を新たに延長して保存を開始する日）から起算して1年間となっています。保存期限を超えて保存の延長を希望される場合は1年ごとに更新手続きが必要です。

凍結保存期限日までに所定の手続きを必ず行ってください。なお、凍結保存期限日において保険適用での凍結胚移植治療を行っている方は、最大3年間保険適用での手続きができます。ただし、妊娠やその他の理由によって不妊症にかかる治療が中断されたあとも胚凍結保存の継続を希望される方は、凍結保存期限日より自費負担となります。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

クリニックからは

凍結保存期限のお知らせや、期限が切れた際の意味確認の連絡はいたしません。

不注意により手続きをお忘れになった場合も、凍結保存期限延長の意思がないと判断し、廃棄処分いたします。ご了承ください。

凍結保存期限はリマインダーやカレンダーにメモされるなど、決してお忘れにならないようご注意ください。

手続きは保存期限の2ヶ月前から可能です。

融解を行う日が凍結保存期限日を1日でも過ぎる場合は延長費用が発生します。

凍結期限延長を希望される場合

「凍結胚保存期限延長同意書」をクリニックのホームページよりダウンロードし、ご夫婦で署名の上、提出し費用をお支払いください。

保険適用で延長手続きをされた方には連絡いたしませんので、ご自身で保存期限日の管理をお願いします。

保険適用外で延長手続きをされた方には折り返し新しい保存期限のお知らせを郵送いたします。

治療の状況によっては、保険診療または自費診療となり、延長費用が異なりますので事前に必ずお電話または受診時にご確認ください。

保険適用の方（移植に向けて治療を開始しているが、移植前に期限が過ぎてしまう方）

凍結保存延長費用

胚凍結保存維持管理料（1年）3,500点（窓口ご負担額10,500円）

手続き方法

クリニックへの受診が必要

以下の全てをお持ちください。

- (1) 凍結胚保存期限延長同意書
- (2) 費用10,500円＋保険診療費
- (3) 保険証（忘れた場合は一旦全額自費負担）

保険適用にならない方（当クリニックの治療を中断している方や、妊娠中の方、自費で採卵された方）

凍結保存延長費用

胚凍結保存延長（1年）45,100円（手数料込み）
（6カ月）23,100円（手数料込み） } どちらかお選びください。

手続き方法（①または②のいずれか）

①クリニックに来院し手続き

以下の全てをお持ちください。

- (1) 凍結胚保存期限延長同意書
- (2) 費用

②クリニックに来院せずに手続き

凍結胚保存期限延長同意書を郵送し同時に、費用を下記指定口座に振り込んでください。

関西みらい銀行 長居支店

普通預金 No. 0423566

医療法人すばる会 岡本クリニック

※振込人名義は「診察券番号 氏名 ホゾン」としてください。

例) 岡本花子 ⇒ 12345 オカモトハナコ ホゾン

※振込み手数料は各自ご負担下さい。

※振込明細書を領収書としてご利用下さい。当院では発行できません。

廃棄を希望される場合

「凍結保存胚廃棄同意書」をクリニックのホームページよりダウンロードし、ご夫婦で署名の上、郵送または来院にて提出してください。